

- この様式はそのままウェブページ掲載しますので、講座の目的や内容が魅力的に伝わるよう、分かりやすく記入してください。色や写真やイラストなどを用いても構いません。
- 行間などは自由に変えていただいて構いませんが、**1 ページに収まるよう作成してください。**

「生きもののつながりってなんだろう？」

～「生物多様性」を考えてみよう～

講義担当：環境創造局政策課

一緒にお送りする「ESDの視点から環境教育を捉え直す」を参考にするなど、どの教科に関連するのかを記載してください。

分かりやすく、興味を引くタイトルや、授業の単元に使われる言葉を使うことをおすすめします。

| | | | |
|--------------------|---|---------|---|
| 対象者 | <input type="checkbox"/> 小学校低学年 <input type="checkbox"/> 小学校中学年 <input type="checkbox"/> 小学校高学年 <input checked="" type="checkbox"/> 放課後施設利用児童 <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> 地域一般 | | |
| 授業活用例 | 小学1・2年「生活科」、3・4年「理科：身の回りの生物」、5・6年「理科：生物と環境」 | | |
| 関連のあるSDGsのゴール | 11、14、15 | オンライン授業 | <input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 |
| 対応可能曜日 | <input checked="" type="checkbox"/> 平日 <input type="checkbox"/> 休日 <input type="checkbox"/> その他(曜日) | | |
| 対応時間 | 9時～17時 | | |
| 年間実施上限数 | 3回(日程があえば3回を超えても開催できる場合があります) | | |
| 講座実施方法 ※()は場所等 | <input checked="" type="checkbox"/> 講義(パソコン、プロジェクタが利用できる教室、会議室等) <input checked="" type="checkbox"/> ワークショップ(教室内で紙コップを使ったワークショップ) <input type="checkbox"/> 自然体験() | | |
| 講座所要時間 | 45～90分 | | |
| 実施条件、必要な準備等 | パソコン、プロジェクタ、DVD プレイヤーの準備をお願いします。 | | |

プログラム内容

1 講座の目的・ねらい

私たちの生活は、植物・動物などたくさんの生きもののつながりによって成り立っている。生きものたちが住む自然に感謝し、保全する必要があることを考え、行動のきっかけをつくりたい。

2 内容

クイズ等で、受講者の皆さんとコミュニケーションを取りながら授業を進めます。(1)～(3)から選んで講義できます。時間は目安です。実施時間に応じて内容を調整します。受講対象年齢に応じて内容の調整ができますので、事前にご相談ください。

(1)生きもののつながりの大切さについて(約20分)

生きものたちがつながり合う豊かな自然から得られるたくさんの恵みにより私たちの生活が成り立っていることや、私たちの生活が自然に与えている影響(危機)を受講者の皆さんと一緒に考えます。パワーポイントでクイズを出しながら楽しく学びます。

(2)生きもののつながりを考えるワークショップ(約25分)

自然や動物のイラストを描いた紙コップを使って、屋内でも生きもののつながりを体感できます。

- ※人数が多いと時間がかかります。
- ※外来生物の勉強にも活用できます。



(3)その他(大学生以上向け)

「横浜市環境管理計画」の中に位置づけられている「生物多様性横浜行動計画(ヨコハマbプラン)」など、行政の施策・取組の説明も可能です。

・専門分野に詳しくない方にも分かるように、講座のねらい、内容を記載してください。
 ・プログラムの流れや授業風景が分かるように記載するのがおすすめです。
 ・プログラムを詳しく紹介しているホームページをお持ちでしたら、そのURLも記入してください。

問い合わせ先はホームページ上で公表されます。